

「株式会社 姫路シティFM21」

第70回 放送番組審議機関 審議会議事録

1. 開催日時 平成29年1月28日(土曜日) 午後1時30分～午後3時

2. 開催場所 イーグレひめじ地下2階 ミーティングルーム

3. 出席状況

1)委員総数 7名

2)出席委員数 4名

3)出席委員の氏名(敬称略、順不同)

大井 義雄 大谷 昭仁 大野 幸一 岩田 稔恵

4)欠席委員の氏名(敬称略、順不同)

岸田 直美 宮本 節子 衣笠 愛之

5)会社側出席者氏名

寺尾 雅晴 (専務取締役 放送局長)

石本 康二 (常務取締役 営業部長)

小幡 博 (営業企画課課長兼放送総務部放送課長)

4. 議題

1)事務局説明

- ・ 放送局長より挨拶

2)資料説明

- ① 平成28年12月～平成29年1月の取り組みについて
- ② 平成29年2月以降の取り組みについて
- ③ その他

3)試聴

- ① ランキヤス(1月21日放送分)
- ② 夕方交差点GENKIもって来い!(1月17日放送分)

4)意見交換

大野委員 防災はテーマとして取り上げているのか?せっかくなので、あなたの家でどんな防災を考えているのか?と、今後のためになるような取材をするべきだ。

大谷委員長 日常で危機意識を持つことは難しい。しかし、恐怖をあおることも問題だ。

大井委員 震災の事は時間がたつと忘れる。救援活動を行ったが、その時のひどさというものも忘れつつある。

- 岩田委員 自衛官の成人式に参加したが、阪神淡路大震災を知らない隊員ばかりだ。生まれていないので仕方がない。
インタビューをした対象に知識がなければ、インタビュアーが指導することも必要。「わがまち・元気」で、一般人のインタビューも入れるべきだ。
1月17日の防災啓発イベントについても知らなかった。
- 寺尾局長 今回は初めての企画だと聞いている。当初はパネル展示や啓発グッズ配布などを考えていたが、新たに取り組みをとということで、生中継を行った。
- 大野委員 「自助を徹底する」番組を編成するべき。それなら市の危機管理室も賛同するのではないか。
- 小幡課長 レギュラー番組の中で危機管理室や消防局が実施している。姫路市も力を入れている。
- 大野委員 一方通行ではなく、インタビューを含めて、市民と交わりながら行うべきだ。
小幡課長 今回は姫路城マラソンにおいて自治会の応援内容を紹介する番組を作ったが、防災に関しても自治会のバックアップを元に創ることができれば、より充実したものができる。
- 大野委員 「共助」まで広げたら自治会も対応できる。
大谷委員長 防災については常に意識を持つという不断の努力が必要だ。

【事業報告等に関する意見】

午後3時、以上の報告・討議・検討を終了し、閉会した。

公表年月日 平成29年2月1日

公表内容 審議の概要

公表方法 事務所据え置き、ホームページ(<http://fmgenki.jp>)

自社放送内「FMゲンキからのお知らせ(平成29年1月29日午後5時10分)」

以上